



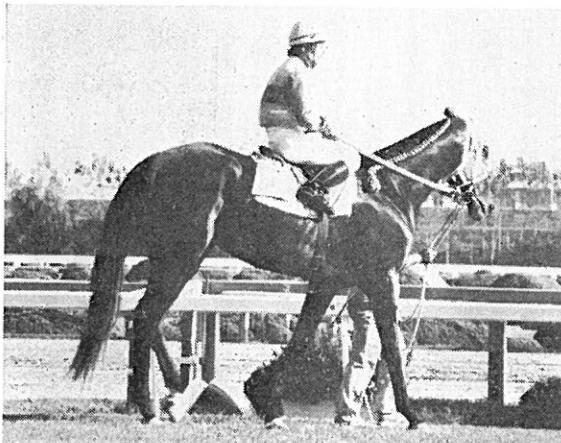
昨年のフリーハンデは別表のとおり決まった。古馬の部門ではテンボイントがトップにランクされ、44年のタケシバオーと同斤の66キロでもいいとの意見もあったが、宿命のライバル・トウショウボレイとの関係から65キロに決まった。65キロを与えたのは45年のスピードシンボリ以来。4歳は3頭のクラシック馬とマルゼンスキーの関係が論議されたが、クラシックを重視するということで、トップのフレストウコウ、ラッキールーラより1キロ下になった。3歳は例年どおり東西の三歳戦の総決算、朝日杯三歳S、阪神三歳Sを勝ったギャラントダンサー、バンブトンコートが56キロでトップにランクされた。

西	田	秀	夫	(栗 東)
各	務	富	也	(栗 東)
佐	久	間	喬	(栗 東)
甲	佐		勇	(栗 東)
高	宮	勝	房	(中 山)
寃				
岩	邦		夫	(東 京)
柴	片	将	士	(東 京)
			裕	(本 部)
司会／編集部				

77年のフリーハンデ



プレストウコウ



ラッキールーラ



ハードバージ

変難しい。このフリーHは、クラシックの成績を中心付けられて来た。しかし、マルゼンスキーはその出走資格がないため比較する材料が非

52年は皐月賞ハードバー
ジ、ダービーがラッキールーラ、菊
花賞プレストウコウと、クラシック
の勝馬が全部違う。それに4戦無敗
のマルゼンスキーを加えた以上4頭
が上位にランクされるがトップは何
か。

筧 マルゼンスキーについては^④
のため出走制限があつてクラシック
に走つていなか。三頭とは別に考え
てみたいが、どうですか。

高宮 賛成だ。比較する材料が、

少な過ぎる。

西田 ハードバージは春しか走れ

52年は皐月賞ハードバー
ジ、ダービーがラッキールーラ、菊
花賞プレストウコウと並んでしまう。

なかつた。東の2頭とは差がある。
するとトップは、ラッキー

勝ちだ。
甲佐 63%の単独トップか。

佐久間 そして、3連続レコード
が。プレストウコウと並んでしまう
が。ラッキールーラの勝ったレ
ースはダービーであり、競走の格か
らいって当然同斤でよい。

各務 次はハードバージになるが
岩片 63%でトップになつた馬は
少くとも、クラシックに2勝して
いる。62%でいい。

西田 63%でトップになつた馬は
は、少し抵抗がある。

岩片 61%では、歴代のダービー^{1/2}馬より評価が低くなつてしまふ。
岩片 クライムカイザー、コネ
ランサーとも62%だった。ラッキ
ールーラも同程度の評価はできる。

西田 61%では、歴代のダービー^{1/2}馬より評価が低くなつてしまふ。

岩片 61%では、歴代のダービー^{1/2}馬では逆にアタマ負けし
ている。力関係はまったく互角に見
えるが。

西田 ダービー馬と皐月賞馬には
やはり1%の差はつく。ハードバ
ジは秋に走れなかつたし。

西田 上位3頭の次は、マルゼン
スキーに移つて下さい。

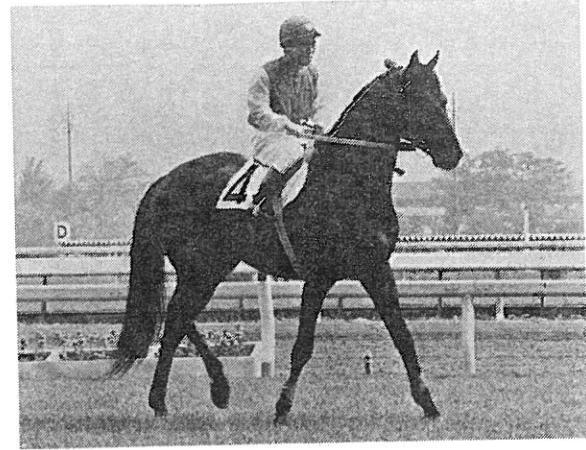
西田 マルゼンスキーの評価は大
きに付けて来た。しかし、マルゼン
スキーはその出走資格がないため
比較する材料が非

西田 フリーHは、クラシックの成績を中
心に付けられて来た。しかし、マルゼン
スキーはその出走資格がないため
比較する材料が非



ハードバージ

変難しい。このフリーHは、クラシックの成績を中心付けられて来た。しかし、マルゼンスキーはその出走資格がないため比較する材料が非



マルゼンスキ

ピード、ヤマズキオーマーをまったく問題にせず、1分10秒1で快勝している。

算 その点で強さについて

ては十分に認めるが、評価する材料がなすぎる。

各務 トップに並べるか

どうかが問題だ。

柴田 短波賞ではプレス

トウコウは完敗したが。秋

後半の充実度を見るとプレ

ストウコウの方を上にする

必要がある。

高宮 クラシックを中心

に考えるべきで、1キロ下の

61でハードバージと並べた

トウコウは完敗したが。秋

後半の充実度を見るとプレ

ストウコウの方を上にする

必要がある。

岩片 この次は、牝馬が来て、牡

馬はない。

甲佐 西の3頭、インタークロリ

ア、リニアクイン、アイノクレスビ

ンか。

佐久間 この3頭はそれぞれ1キ

ロ差を付けなければいい。

各務 二冠のテスコガバーが60、

ティタニヤが59だった。ハードバ

ジから2キロ差付けていい。

算 2キロもあるかな、インター

クロアは60でいい。

岩片 60キロから1キロ差で並べた

らどうか。

柴田 持込や外国産の元々クラシ

ックに走れない馬については、それ

をどう評価するか、今後の研究課題

です。

西田 春の桜花賞に勝つて、秋も

エリザベス女王杯、阪神牝馬特別と

連勝した。これは並の牝馬ではでき

ないことだ。

西田 テスコガバーとの比較から

すると、少し気になる。やはり、59

キロは非常に高い。低く評価はできな

い。

算 テスコガバーの歩いた道は王

道であったが、やはり秋走れなかつた。

柴田 年間通じて、とくに牝馬3頭が健在で闘ったというのは非常に珍しい。かなり高い評価を与えてもいい。

甲佐 それにリニアクインのオーナーが健在で闘ったというの非常に珍しい。かなり高い評価を与えてもいい。

佐久間 60キロから1キロ差で並べた

ら、妥当なところだ。

(以下略)

岩片 クラシック馬から3キロ差な

い。

高宮 全体に牝馬不作という感が

あるが、牡馬上位4頭の次はヒシス

ピードで、アイノクレスピンと並べ

て58キロでどうか。

西田 クラシック馬から3キロ差な

い。

高宮 さらにオーブン特別とはい

ないが、そうするとトウシヨウボ

イとの関係が難しくなる。

佐久間 2頭の勝負は1勝1敗。

各務 どう見ても、この2頭の間

に2キロの開きはない。1キロがいい線

だ。

算 常に少ないからだ。

算 比較できるものは日本短波賞で、プレストウコウに、7馬身差で勝ったのだけしかない。

算 しかし、短距離の競馬とはいえ、札幌の1200メートルで、ヒシス

5歳以上

記念だけ。例年に比べてもかなり評価しないといけない。

算 52年の古馬陣はテンポイントト、トウシヨウボーアイ、グリーン

ラスの5歳3強が揃い、久々に充実

した年となりました。その中で、やは

りトップに来るのは、天皇賞、有

馬記念を制したテンポイントと思いま

すが。

西田 テンポイントの単独トップ

は異存がない。7戦6勝で唯一の敗

戦がトウシヨウボーアイに負けた宝塚

キロ。それよりは上だ。

柴田 49年のタニノチカラが64キロ

でトップだったが、東京新聞杯を勝つてから、天皇賞も含めてスプリ

ンターフーズまで8連勝と、圧倒的な

強さを示した。

甲佐 さらにオーブン特別とはい

え、ジュライSでは65キロで勝つてい

る。

各務 テンポイントも京都記念59

キロ、鳴尾記念61キロ、京都大賞典63キロ

佐久間 44年のタケシバオーは66キロでトップだったが、東京新聞杯を勝つてから、天皇賞も含めてスプリンターズSまで8連勝と、圧倒的な強さを示した。

高宮 66キロまで行つても不思議はないが、そうするとトウシヨウボーアイとの関係が難しくなる。

佐久間 2頭の勝負は1勝1敗。

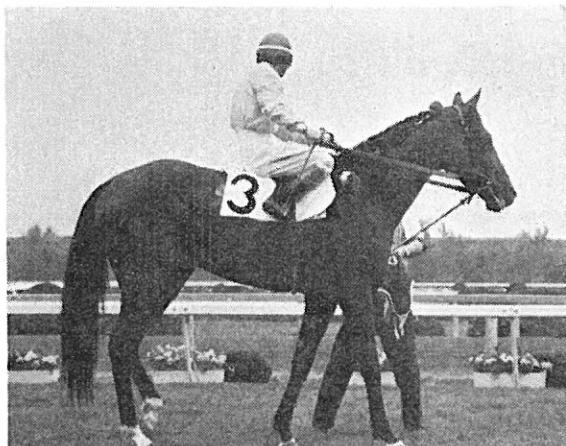
各務 どう見ても、この2頭の間

に2キロの開きはない。1キロがいい線

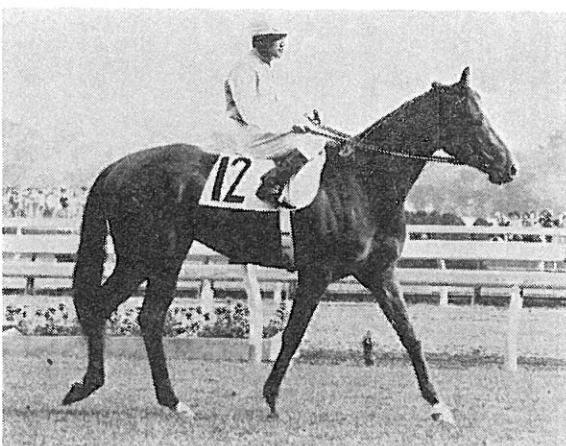
だ。

岩片 66キロまでテンポイントを持

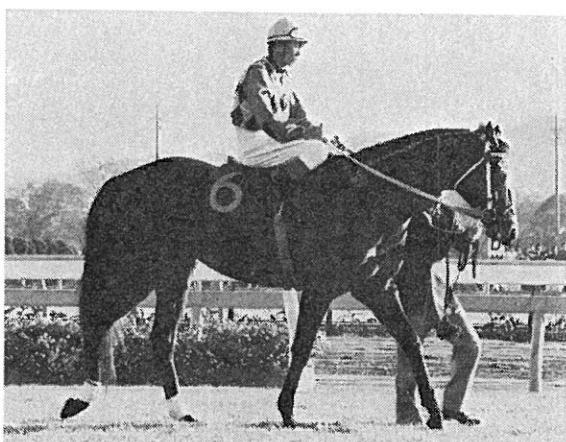
つて行くと、トウショウウボーリは65
きになる。重賞が、宝塚記念と高松
宮杯だけでは、65
きにするには説得
力に欠けるようだ。



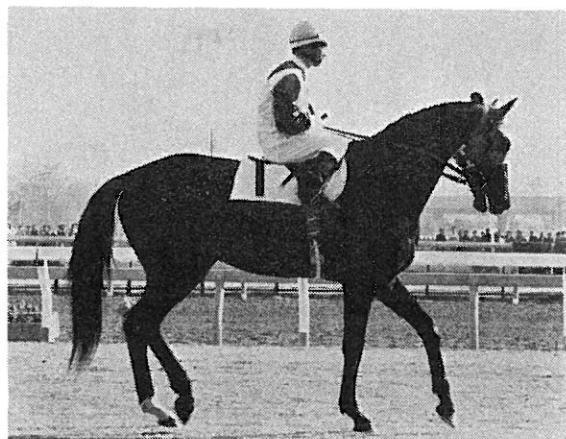
ホクトボーイ



テンポイント



トウショウウボーイ



グリーングラス

というの
は、相当
高く評価
したい。
1
か。下の
60
か。西田
しかし、
重賞の勝
鞍が一つ
もないの
に60
きは重過
ぎる。

西田
天皇賞で
1
か。60
か。西田
しかし、
重賞の勝
鞍が一つ
もないの
に60
きは重過
ぎる。

岩片 ホクトボーイの63
きは考えられないか。
各務 春の天皇賞3着と
62
きですから、ホクトボーイも同じ

—— 次は、やはり秋の
天皇賞馬ホクトボーイか。
西田 関西ではホクトボ
ーイしかいない。トウショ
ウボーイと2
き差の62では
どうか。

岩片 本当に強かった。
各務 春の天皇賞3着と
62
きですから、ホクトボーイも同じ

高宮 有馬記念であれだ
けの勝負はしたが65
きでは重いし、かと言つて、そう
軽くもトウショウウボーイは
できない。64
きなら、しつ
くりする。

甲佐 宝塚記念を見ても、水の開
いた5着だった。
佐久間 関東のグリーングラスは
ここに並ばないか。
算 グリーングラスは、アメリカ
JCCと日本経済賞の重賞二つだが
有馬記念を見れば同格と見たい。

高宮 次にランクされるのは、ア
ルゼンチン共和国杯と中山記念優勝
のアイフルと、函館記念を63・5
きで勝ったヤマブキオーカ。

佐久間 4戦3勝で、重賞は京阪
杯のみだが、60
きで勝ったのを評価
したい。

柴田 関東ではダービー卿を59
で勝ったグレートセイカン、京王杯
スプリングHのニッポーキング、4
戦1勝だが金杯を59
きで制したハ
バーベンゲンが59
組だ。

高宮 これらに関西のゴーラードイ
ーグルは入らないか。

岩片 ハービー卿を59
きで勝つなど、かなりいいが
1
か。60
か。西田
しかし、
重賞の勝
鞍が一つ
もないの
に60
きは重過
ぎる。

岩片 函館記念のヤマブキオーカ
は、やはり2
き差はあると思う。59
きが、いいところだ。
各務 ヤマブキオーカやアイフルと
はシルバーランドが入ると見て
いる。

柴田 タイトルは一つしかないが
函館記念の勝利は特筆される。

各務 負担能力も競走能力のうち
ということだ。61
きでいい。

岩片 この次はクラウンピラードが
来るが、春秋の天皇賞それぞれ2着

春秋2着というのは、並の馬じゃで
きないのは確かだ。

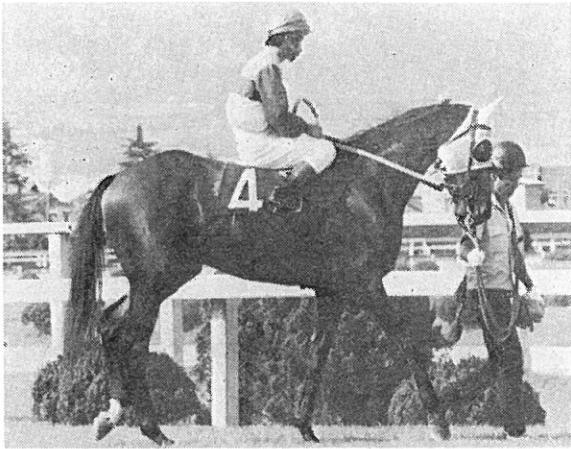
甲佐 一応関西では、あと59
きは、やはり2
き差はあると思う。59
きが、いいところだ。

柴田 ヤマブキオーカやアイフルと
は、やはり2
き差はあると思う。59
きが、いいところだ。

岩片 天皇賞で
1
か。60
か。西田
しかし、
重賞の勝
鞍が一つ
もないの
に60
きは重過
ぎる。

3

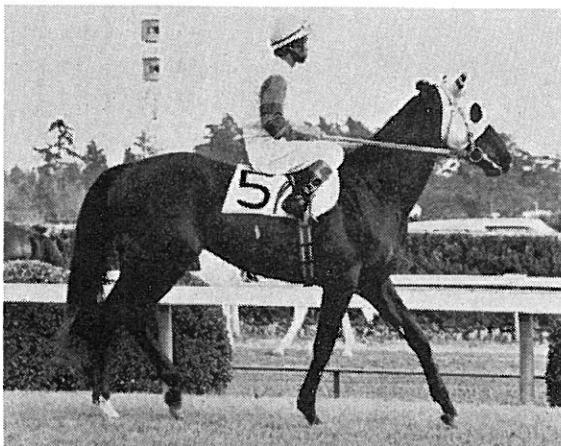
歳



バンブトンコート



ギャラントダンサー



タケデン

▷…訂正…◁ 2月号表IIテンポイントの血統表中、祖母丘高の1968年の産駒「サチクモオー」は「タチクモオー」の間違いでした。訂正しておわびいたします。

最後に3歳馬ですが、東がギャラントダンサー、西がバンブトンコートがトップに立っているが。

西田 バンブトンコートは一応56キロと見て、東のギャラントダンサーと同斤としたいが。

笕 バンブトンコートは57キロと見た。三歳のうち重賞を3つ勝つのは並の馬じやない。

西田 57キロになると51年のマルゼンスキーになる。ギャラントダンサーは、マルゼンスキーより1キロ下と見て同斤にした。同じ無敗だが、マルゼンスキーと並ぶには足りない。

各務 過去57キロが付いたのは、キタノダイオーラとマルゼンスキーの2頭だけ。

佐久間 3歳時に重賞3つ勝ったのは45年のロングワンがいるが、これは56キロだった。

岩片 バンブトンコートは7戦6勝、ギャラントダンサー3戦3勝と内容的には昨年のマルゼンスキーと変わらないようには、いっけん見えないが。

各務 57キロまで行くと、関西は2位以下のバランスが悪くなる。バンブトンコートの次は、2キロ差でインテグシケンとラブリトウショウと見ているが、57キロだと55キロになる。この2頭とも55キロは付けられない。

甲佐 57キロまで行くと、関西は2位以下のバランスが悪くなる。バンブトンコートを1キロ上にはできない。やっぱり、同じでいいと思う。

西田 ただ、バンブトンコートとマルゼンスキーの方が、ギャラントダンサーより速い。

柴田 厳密のテンポイントやキタノカチドキ56キロ馬と比べた場合、バンブトンコートを1キロ上にはできない。やっぱり、同じでいいと思う。

高宮 では東西ともトップ56キロとしたい。

西田 ただ、バンブトンコートと次の2頭の間の3キロ差は大き過ぎる。それにタケデンは関西の2番手2頭よりも1キロは上になる。

柴田 歴代のテンポイントやキタノカチドキ56キロ馬と比べた場合、バンブトンコートを1キロ上にはできない。やっぱり、同じでいいと思う。

高宮 では東西ともトップ56キロは関東のタケデンだけ。

笕 その次の54キロには、シルバーヤスユキでいい。4戦4勝で重賞勝ちはないが、今後に期待が持てるものだ。

(以下略)

'77年のフリーハンデ

※牝 馬 抽選せん馬
父内国産馬 外国産馬
特持込馬 地公営出身馬

4歳馬		5歳以上		3歳馬(東)		3歳馬(西)	
62 プレストウコウ	65 テンボイント	56 ④ギャラントダンサー	56 バンブトンコート	56	バンブトンコート	56	バンブトンコート
ラッキールーラ	64 トウショウボーイ	(ギャラントマン=オドリコ) タケデン	(ロードリージ=イチバング) インターグシケン	54	インターグシケン	54	インターグシケン
61 ハードバージ	62 グリーングラス	(セガンド=シルベギニ)	※ラブリトウシヨウ	53	※ラブリトウシヨウ	53	※ラブリトウシヨウ
④マルセンスキ	61 ホクトボイ	シルバーヤスユキ	(ブルベイシーシーク=クリエッタ)	52	④エンペラーエース	52	④エンペラーエース
60 インターグロリア	61 アイフル	(シルベーン=カニテツヤ)	(クイティス=モラキヤスル)	52	カーパー	52	カーパー
59 リニアクイン	59 ヤマブキオ	サクラショウリ	(ハイネット=モイシタミタ)	52	ジエリイブリンス	52	ジエリイブリンス
58 アイノクレスピン	59 クラウンピラード	シーピクロス	(クラウンドブリンズ=モリセイリ)	52	ダイタクオーナ	52	ダイタクオーナ
④ヒシスピード	59 グレートセイカン	トウフクモンスター	(クラウンドブリンズ=モリセイリ)	52	ノートボーライ	52	ノートボーライ
57 アマミプリンス	58 ④シルバーランド	(イースターフリー=モリモシラユリ)	(ミンスキ=モンテホーフ)	52	ライオネル	52	ライオネル
カネミノブ	58 ニッポーキング	アーベンタスト	(テスコボイ=クインビューチー)	52	サンエムジヨー	52	サンエムジヨー
ブルーハンサム	58 ハーバーヤング	キリーダッシュ	(ミンスキ=モンテホーフ)	51	ジョークレルボ	51	ジョークレルボ
56 ④アローバンガード	58 カシュウチカラ	シルバーペガサス	(タバタク=スズカミンシオ)	51	スズカフラー	51	スズカフラー
テンメイ	58 ④ゴールドイグル	(エスコボイ=テルギク)	タマモリマンド	51	タマモリマンド	51	タマモリマンド
④リュウキコウ	57 トウフクセダン	ハヤグリーン	(リマンド=イコマエイク)	51	バーレルカラ	51	バーレルカラ
スリークルト	57 クライムカイザー	ヒロノスキー	(アバージニミスマックア)	51	メジロイグベル	51	メジロイグベル
※ダイワテスコ	57 ホースメンホープ	ユウカズミ	(メジロサンマ=アマノワリ)	51	メトロジヤンボ	51	メトロジヤンボ
※ファインニッセイ	56 タンスロット	※ロイヤルカントリー	(シャトーダイ=クインサン)	51	リードインデード	51	リードインデード
マーブルベンクス	56 シーピークリン	ウエスタンダインオー	(ジオントラップ=オシワドウェリー)	51	アーリイスプリング	51	アーリイスプリング
※メイワキミコ	56 タニノチエスター	カミニアヤメ	(ミンスキ=コスアブリングヘア)	51	オヤマテスコ	51	オヤマテスコ
※メイワロック	55 ④トウカシタケシバ	クロスアイ	(テスコボイ=トサハヤ)	51	タイリボン	51	タイリボン
メグロモガミ	55 トウショウロック	シバマントナ	(ミンスキ=タマゼット)	51	ディープリバー	51	ディープリバー
※セーヌスポーツ	55 エリモジョージ	スピードヤマトシ	(アバージニミスマックア)	50	ニホンビロテンダー	50	ニホンビロテンダー
テンザンサクラ	55 コウイチサプロウ	トキノアレツ	(エイリック=ミスアブリングヘア)	50	ハシベリオット	50	ハシベリオット
※ブリティーアカツキ	54 ④シタヤロー	ハーバーカウアイ	(テスコボイ=ベニチア)	50	ヒサゴサンユウシ	50	ヒサゴサンユウシ
※マサキビゼン	54 スカッシュソロン	ヒダマサル	(ペルシ=タマゼット)	50	ブジノライシン	50	ブジノライシン
ヨシノリュウジン	54 センターグッド	フアイズホープ	(シャトーダイ=キヤウキンビズム)	50	ホクザンシャトート	50	ホクザンシャトート
リキタイコ	54 フローカンボイ	フジノリンドウ	(アバージニミスマックア)	50	ヒサゴサンユウシ	50	ヒサゴサンユウシ
※リネンジョー	54 ミヤジマレンゴ	ブルーバシフィック	(マジア=タマゼット)	50	ブジノライシン	50	ブジノライシン
アータルオー	54 ロングホーク	ブルーマックス	(オーネン=ミスホクオ)	50	ホクザンシャトート	50	ホクザンシャトート
※ケイツナミ	54 エリランフエス	ブルーマックス	(アバージニミスマックア)	50	マジノフアントム	50	マジノフアントム
ダイフクジュ	54 イシノオウカン	ブルーマックス	(オーネン=ミスホクオ)	50	メジロロホーク	50	メジロロホーク
パワーシンボリ	54 カミノリュウオー	メジロロホーク	(アバージニミスマックア)	50	ワイルドサム	50	ワイルドサム
ホリタエンジェル	54 キングラナーク	ランドギフト	(アバージニミスマックア)	50	アグネスイエロー	50	アグネスイエロー
④ワールドサバンナ	54 ケイシュウフォード	アローエメロード	(エローゴート=オールドレッドアップ)	50	エビスシャーク	50	エビスシャーク
インターペンサー	54 コクサイプリンス	アーチスト	(ブルベイシーシーク=ヤマリ)	50	キヨノボイ	50	キヨノボイ
オープングファバー	54 ④ニッショウゲイヤ	キクキミコ	(テスコボイ=ホウゲヒ)	50	クリプシー	50	クリプシー
④カミノカチドキ	54 ④フジリンデン	キジヨウタカ	(アバージニミスマックア)	50	グリーンティム	50	グリーンティム
キクカリュウショウ	53 ベ	キヌニシキ	(エイリック=タマゼット)	50	ケンサンジョウ	50	ケンサンジョウ
スタイリスト	53 マチカネライコ	コクサギタタイム	(エイリック=タマゼット)	50	ゴットブリンス	50	ゴットブリンス
※スリーファイヤー	53 ミトモオ一	サクランゴツド	(エローゴード=サチナ)	50	サイビランザン	50	サイビランザン
ダイアモンドシチー	53 メイジガルボ	シヤダイオリエンピア	(エリビクワク=トリルブランチ)	50	シロキタイサミ	50	シロキタイサミ
※トウフクツバキ	53 サイコームサシ	タイトジヤガ一	(アローエクスプレス=タマゼット)	50	タイガーシチー	50	タイガーシチー
ニッセキハーミット	53 サクラハイネス	テスコハード	(アローエクスプレス=タマゼット)	50	タイギヤスター	50	タイギヤスター
バリアッチャ	53 シュンセツ	ビゼンフジマサ	(アバージニミスマックア)	50	タマモゴット	50	タマモゴット
ミスターイケイ	53 スーパーフィルド	ヒダマサキ	(エリビクワク=ミスホクウ)	50	チエリタヤマ	50	チエリタヤマ
ロングイチー	53 ④テイタニヤ	ビバトウシヨウ	(アバージニミスマックア)	50	ネーハイジヤック	50	ネーハイジヤック
	53 ニシキエース	フロントページ	(ステューベンズ=ミスホウロディー)	50	ハンキチカ	50	ハンキチカ
	53 ハンビンオー	フロントページ	(スチューベンズ=ミスホウロディー)	50	ヒカリトラック	50	ヒカリトラック
	53 ハンブーホマレ	マサノゴル	(エーローゴード=オカノテ)	50	ファーストシンモエ	50	ファーストシンモエ
	53 ヒロワイルド	ミネノサクラ	(ティットフィアット=ミシシケ)	50	マスフアミリー	50	マスフアミリー
	53 フバースポート	ヒロノサクラ	(エーローゴード=マスカ)	50	マチカネスズラン	50	マチカネスズラン
	53 ベロナスポート	ミホノタイリ	(アローエクスプレス=ウカボシ)	50	マークショーリー	50	マークショーリー
	53 ホシバージ	メイジカブリ	(アバージニミスマックア)	50	ロードサンソス	50	ロードサンソス
	53 ボールドシンボリ	メイジカブリ	(ロードサンソス=サ系ヤングクイン)	50	ヤングソード	50	ヤングソード
	53 ロイヤルスプリンタ	メイジカブリ	(サラセンソード=サ系ヤングクイン)	50	(計46頭)	50	(計49頭)
					(計55頭)		